

「村長よりご挨拶」



「いいね!」1件
ikusaka_tattoko ·
生坂村長の藤澤泰彦です。

生坂村は、犀川の清き流れと溪谷美の山清路、雄大な大城・京ヶ倉など、水辺と里山が織りなす風光明媚な自然に恵まれ、金戸山百体観音、乳房イチョウなど、多くの歴史・伝統文化と灰焼きおやき、おかけ、干し柿などの食文化の財産を背景にして、先人達の努力により守り育んできた自然・伝統との共生の精神を受け継ぎ、地域の絆を大切に心豊かな暮らしを営んでいます。

「つなぐ・まもる・めぐる生坂〜サステナブル農山村モデルの構築を目指して」

という脱炭素先行地域づくり事業を共同提案者と力を合わせて行い、産業と雇用の創出、農業の振興、村民生活の向上、災害に強い村づくり、移住・定住の促進につなげ、村内の経済を活性化させ、人口減少、少子高齢化を打破し、持続可能な生坂村を構築してまいります。

- #いくさか便り
- #龍と子
- #どうずらいくさか
- #いいずらいくさか
- #どうずらいいずらいくさか
- #生坂村
- #東筑摩郡
- #長野県
- #脱炭素先行地域

NEWS インスタ始めました!

Instagram



WEB



生坂村公式ウェブサイトの公開とSNSの運用が始まりました。ぜひ、Instagramをフォローしてください!

INTERVIEW

「母と子(千穂さんと悠人くん)」

Q1. 生坂村のどこが好き?

生坂産の食材が美味しいところ。

Q2. 親から子へ、この村で未来に残したいものなどありますか?

学校給食費が無料になりましたが、美味しい食材を提供してくれる方が居ること、無料で食べられること、作ってもらえることが当たり前ではないということ、今あるもの、人を大切に感謝の気持ちを忘れないでいてほしいです。

Q3. 本事業に期待していることは?

潤いのある村になること。

EDITOR'S NOTE

編集後記

すっかり寒くなってきました。ゼロカーボン事務局では、蜜蝋ラップ作りを年明け1月から行います。どなたでも気軽に事務所にいらしていただき、使い捨てではない繰り返し使用できるラップを一緒に作りましょう。材料をご購入いただき、いつでも作成可能です。事務局でお待ちしています。

令和6年度からはご家庭への省エネ機器や設備の導入補助メニューの募集も開始されるようです。メニューの内容、導入可能な設備については村づくり推進室で現在、鋭意調査中です。我が家は灯油の使用を減らしたいので薪とペレット兼用ストーブを検討したいところ。ストーブも調べるほどに、素材や技術によってかなり差が。薪だけではなく針葉樹を燃やしても煙が少ないものもあるよう。せっかく導入するなら良いものを導入したいですね。カタログに埋もれて行く今日この頃です。

齊藤 博久

(合同会社 HITTISYO 代表)

[発行元] 生坂村 [編集] いくさかゼロカーボン事務局
[電話] 050-3354-7715 [メール] info@green-ikusaka.org
[住所] 生坂村5471-8(旧窪田商店) [平日] 9:00~17:00



TOPICS

- 地区調整会議を終えて ○事業進捗
- Instagram 村長よりご挨拶 ○Interview 母と子

創刊号

01

2023 Dec.



FEATURE

地区調整会議を終えて

10月から太陽光発電設備及び蓄電池設備の導入に向けた調査・設計・計画作成に着手し、11月には10地区との調整会議を終えました。区長をはじめ区役員、農業委員の皆さまがたにはお忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。

地区調整会議では、①オフサイト PPA事業(遊休地等での野立て太陽光)の各地区における協議の進め方や設置候補地について、②各区の公民館や集会所等でのオンサイト PPA事業(屋根置き太陽光)について、③農林水産省による最適土地利用総合対策事業について、説明を行いました。

またこの会議では、オフサイト PPA(遊休地等での野立て太陽光)の設置候補地選定に向けた協議の進め方を、地区ごとに決めました。

パターン1：小立野、上生坂、日岐、大日向

会議で持参した図面で野立ての設置に適していると思われる箇所をお集まりいただいた方に挙げていただいた。今後、平林建設による調査を行い、改めて役員や区民全体に設置の是非を諮る進め方

パターン2：下生野、宇留賀、古坂

設置に適した場所については、区からは挙げずに、まず村や平林建設で調査を行い、野立てに適していると考えられる候補地を区に提示をして、改めて区民に是非を諮る進め方

パターン3：下生坂、草尾、昭津

土地の所有者の意向を優先して、村側から区内の土地所有者に野立て設置の希望の確認を書面で行い、希望状況を確認したところで、平林建設で調査や必要な地域との協議を行い、区に是非を諮る進め方(希望が無い場合は、村側で適していると思われる候補地を改めて区に提示して進める)

令和5年度は各区の設置予定地を決定し、令和6年度には設置に向けた手続きや協議を進めて参ります。1月下旬から2月にかけて行われる住民説明会で改めてご説明いたしますが、民家への太陽光パネルの設置数が多ければ多いほど野立ての設置面積は少なくて済みます。民家の屋根だけでなく、カーポート・蔵・敷地内の土地や遊休地などへの設置診断は、引き続き平林建設が行なっておりますので、調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、高齢化や人口減少による農業者の減少や耕作放棄地の拡大が懸念される中、地域農業の将来の在り方について、若年者や女性を含む幅広い意見を取り入れながら、地域の関係者が一体となって地域計画を策定できるよう、農林水産省・農山漁村振興交付金(最適土地利用総合対策)が活用できることとなりました。今後、各地域での調査及び必要に応じて話し合いなども行っていきますので、ご協力をお願いします。

NEWS いくさか便り 龍と子(たっとこ)発刊のお知らせ

生坂村公式ウェブサイトの公開と SNSの運用に伴い、いくさか zero carbon newsを改め「いくさか便り 龍と子」を発刊いたしました。龍と子と書いて「たっとこ」と読みます。ここ生坂村には山清路に伝わる「犀龍小太郎伝説」があります。母である犀龍の背中に乗って山清路の巨岩をつきやぶり、安曇平を拓いたといわれる小太郎のように、未来の生坂村がより良い村になるよう努めてまいります。本誌では令和5年度より取り組んでいる、脱炭素先行地域づくり事業のご紹介・進捗状況を中心に皆様にお届けしてまいります。



PROGRESS

脱炭素先行地域事業の現在の進捗状況

(令和5年12月20日現在)

村で行う各事業の調査、設計等は、「株式会社エコロミ」により、進めております。



マイクログリッド事業

マイクログリッド事業では、12月13日に中部電力パワーグリッド株式会社と配電線利用に向けた現在の進捗状況の確認や今後の予定について打合せを行いました。引き続き、事業計画や設計について作業を進め、2月から3月にかけては、接続を予定する公共施設の冬季電気使用状況調査を実施していきます。



EV化の推進・EVシェアリング

公用車の EV化については、株式会社エコロミの下請け業者である、東京の「株式会社 REXEV」により、村の各部署の公用車の運行状況のデータ集計を進めていただいております。今後、公用車の稼働状況を基に、設備の設置や事業の企画提案をいただく予定としています。

生坂ダムの小水力発電

生坂ダムの小水力発電について、11月28日、29日に福井県、富山県方面へサイフォン式小水力発電や水中タービン発電機の視察を関係者で実施しました。現在、村で導入を計画していく設備の提案書を、株式会社エコロミの下請け業者である東京の株式会社波多野調査設計により作成を進めていただいております。その内容に基づき、今後、関係機関と協議を進めていく予定としています。



事務局運営サポート業務

事務局運営サポート業務は、「合同会社ヒッタイショ」が、現在、上生坂の旧窪田商店を事務所として、脱炭素事業に関する問い合わせ窓口として、電話、メール、訪問対応をしています。

木質バイオマスの活用

木質バイオマスの活用に向けた山林調査は、株式会社エコロミの下請け業者である伊那市の「合同会社ラーチアンドパイン」により事業を進めています。村の山林の在り方を含め、脱炭素につながる活用を検討していくため、各地区の方への聞き取り調査や山林の現地調査を、地元の方にご協力いただいて実施しました。現在、報告書を作成中です。今後、提出いただいた内容を基に詳細な事業を計画していきます。また、やまなみ荘の木質ボイラーの導入については、引き続き、株式会社リコーと供給可能な材の燃焼試験を行い、設備の計画を進めています。

古民家脱炭素リノベーション

12月に関係者との聞き取り等を行い、候補物件となる空き家の調査を実施しました。引き続き、事業設計に向けて、手法や内容を検討していきます。



オンサイト、オフサイトの PPA事業

オンサイト PPAは、現在、「株式会社いくさからす」の受注業者である平林建設株式会社が個別訪問を行い、事業説明や設置調査を進めています。また、オフサイト PPAは11月に10区との調整会議を完了しました。今後、会議の話し合いで決定した区ごとの候補地の協議の進め方に沿って、野立ての太陽光パネルの候補地を地区と調整していきます。